

地域福祉活動計画とは？

地域の支えあいを進めるための仕組みや活動を地域の方々と一緒に考え、取り組んでいく計画です。

東村山市社会福祉協議会が計画策定の事務局を担っています。

子ども・若者×〇〇

第6次地域福祉活動計画では“子ども・若者”にスポットを当てていますが、それ以外の年齢層の方は対象外ということではありません。

若い世代の方達がまちづくりに関わる仕組みをつくることで、周囲の大人も巻き込み、東村山に住む一人ひとりが主役になれる東村山を目指していきたいと考えています。

『ありがとう』 言って言われる東村山

「ありがとう」は誰もが使う言葉ですが、「ありがとう」と言い合えるにはお互いを認め合うことが必要です。計画の推進を通じて、「ありがとう」があふれる東村山を目指し、取り組みを進めていきます。

WE♥東村山プラン



Thank you

Danke schön



Salamat



khob khun ka



『ありがとう』 言って言われる東村山

-ダイジェスト版-

谢谢

dhanyabaad

감사합니다

東村山市第6次地域福祉活動計画 (2024~2029)



東村山市第6次地域福祉活動計画 ダイジェスト版

令和6(2024)年 4月

東村山市第6次地域福祉活動計画策定委員会

[事務局]

社会福祉法人 東村山市社会福祉協議会

〒189-0022

東村山市野口町 1-25-15

TEL042-394-6333 FAX042-393-0411

✉ soumu@hm-shakyo.or.jp



オリジナル版は東村山市社会福祉協議会ホームページ等からご覧いただけます



「ありがとう」言って言われる 東村山を目指します

SDGsは、「誰一人取り残さない」持続可能な社会の実現を目指す世界共通の目標です。各取組みの紹介ページで、目標に関連するアイコンを表示しています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

ありがとう！

大好きな東村山を「ありがとう」があふれるまちに

ありがとう！



第6次地域福祉活動計画では、子ども・若者が活躍し「ありがとう」と言われる、子ども・若者を地域の方がサポートすることで「ありがとう」と言われる、そんな東村山を目指し、4つの柱のもと地域住民の皆様とともに取り組みを進め、「ありがとう」があふれる東村山を目指します。

子ども・若者×「^{かつやく}活躍」
地域活動で、子ども・若者がメリット・やりがいを
感じられる仕組みをつくる



■私たちの目指す「6年後」

- *子ども・若者が主体的・自発的に考え、地域で活躍できる
- *いろいろな世代の人と地域でつながり、活躍できる
- *継続性があり、次の代へ^{でんしょう}伝承していける

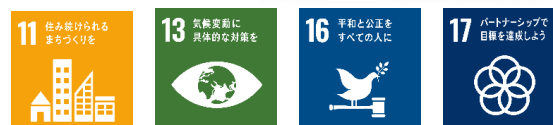


子ども・若者×「^{ぼうさい・ぼうはん}防災・防犯」
子ども・若者が主体となって
防災・防犯について考え、発信する



■私たちの目指す「6年後」

- *子ども・若者が得意な方法で「防災」「防犯」について発信する
- *子ども・若者の活動を大人がサポート
- *6年後のその後も、取り組みが続くように



子ども・若者×「^{いばしょ こうりゅう}居場所・交流」子どもや若者が関わり、
^{こくせき}国籍が違っても、障がいがあっても、
みんなが ほっと できる居場所をつくる



■私たちの目指す「6年後」

- *いろんな人がいて楽しい「地域」
- *「ありがとうの輪」を広げる
- *近くに ほっと できる場をつくる



^{こうほう・かつどうしえん}「広報・活動支援」
「共感から行動へ ありがとうの輪を広げる」
取り組み



■私たちの目指す「6年後」

- *全町で活動に取り組める
- *子ども・若者が地域づくりに参加
- *地域貢献が進むネットワークづくり



子ども・若者がまちづくりに関わる仕組みづくりと実践を通じて、周りの大人たちもみんなが元気になる、そんな取り組みを推進していきます